

V. 社会奉仕に資する事業（寄付行為第4条5号）

福 祉 委 員 会

委員在籍数	委員会開催回数	延出席数
8人	11回	68名

今年度の活動方針： 新たな公益活動を意識し、「傾聴」について学び、実践への発展の可能性を探る。福祉分野のグループを支援する。



福祉講演会
福祉活動 半世紀
～「我が身を削り抜いた鯉節人生に悔いはない」～

1. 本年度は以下の3つのプログラムを企画、開催した。
 - ①福祉サロン 医療問題を考える会の代表の講師から、より良い医療を受けるための心得について小冊子をもとに伺い、意見交換を行った。
 - ②福祉講演会 長年、福祉活動を実践してきた講師から世相批判も交えた経験談を聞いた。
 - ③ゴスペルコンサート キリスト教ミッションを音楽で表現。また、歌うことで自分の心を解放し一緒に楽しむ。
2. 福祉分野のグループと協働する機会もあることを確認した。
(横井 邦子)

【開催プログラム】

開催日	プログラム名	テーマ	講師名	回数	人数
7月20日	第5回福祉サロン	よりよい医療を受けるための 患者の心得	奥田悠子さん（よりよいのちと 医療を考える会 [WILL] 代表）	1	37
9月21日	福祉講演会	福祉活動 半世紀 ～「我が身を削り抜いた鯉節人生に悔いはない」～ 柳澤慎一の辻説法	柳澤慎一さん	1	46
3月8日	ゴスペルコンサート	心の垣根を越え、心を一つに	Voices of Vision	1	100

【各グループの活動報告】

テレホンサービスグループ

活 動	回数	延出席人数
テレホンサービス・テープ作製	116	116

- ・機械故障のため、2007年10月～12月 サービス休止
- ・新しい機械購入 2008年1月サービス再開
- ・内容（週2回録音）：くらしの情報・催し物案内・旅行案内・図書案内・聖書の話

点訳グループ

- ・YWCAの催し（講演会、講座、福祉サロン、バザー、クリスマスなど）の案内くらしを点訳、打ち出して視覚障がいの方たちの発送。
- ・絵本の点訳 4冊

音声訳グループ

【今年度作成のテープ】

番号	題名	テープ数	目的
151	はやぶさ新八御用帳1 大奥の恋人	6	声の文庫
152	はやぶさ新八御用帳2 江戸の海賊	5	〃
153	はやぶさ新八御用帳3 又右衛門の女房	5	〃
154	はやぶさ新八御用帳4 鬼勘の娘	5	〃
155	はやぶさ新八御用帳5 御守殿おたき	4	〃
156	はやぶさ新八御用帳6 春月の雛	5	〃
157	はやぶさ新八御用帳7 寒椿の寺	5	〃
158	はやぶさ新八御用帳8 春怨根津権現	5	〃
159	はやぶさ新八御用帳9 王子稲荷の女	5	〃
160	はやぶさ新八御用帳10 幽霊屋敷の女	5	〃
	テープ図書 5タイトル		個人リクエスト
	CD図書 3タイトル		〃
	名古屋YWCA 機関紙(隔月)		
	日本YWCA (毎月)		
	愛知国際病院「みなみやま」(年2回)		

- ・ 名古屋市立東市民病院「声の文庫」テープ整理。毎月一回。年間12回 24名参加
- ・ 利用者の方23名に手作りのクリスマスカードを郵送。
- ・ テープからCD図書移行のため、パソコン操作と編集の勉強会を毎月一回開催した。

美術ガイドグループ

開催日	プログラム名	参加者数	内美術ガイドメンバー
5月17日	視覚障がい利用者との交流会&愛知県美術館「若冲展」鑑賞	13名	7名
5月24日	角田学芸員(名古屋市美術館)とのお話会	14名	8名
9月16日	愛知県美術館主催「黒川弘毅氏ワークショップ」にボランティアガイドとして協力	18名 + 県美職員	6名
9月20日	メナード美術館「美術館で出会う色」‘色いろ’鑑賞ツアー	15名	8名
11月22日	愛知県美術館「ロートレック音楽会」と鑑賞会	10名	9名
12月20日	愛知県美術館主催「視覚に障害のある方へのプログラム」事前研修	21名	13名
1月10日	愛知県美術館主催「第11回視覚に障害のある方へのプログラム」にボランテ	38名(2回)	延べ19名
1月12日	ィアガイドとして協力(計4回)	29名(2回)	延べ15名

上記のプログラムの他、個人のリクエストに応じ「ダリ展」「ロートレック展」をガイドをした